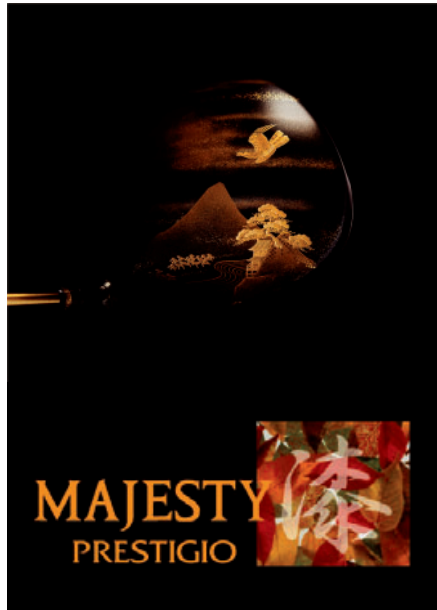


Business Report

2010.9

2010年9月期 決算のご報告
2009年10月1日～2010年9月30日

マルマン株式会社



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による景気刺激策等により一部に回復傾向は見られるものの、デフレ経済の進展と雇用情勢の悪化が続き、また円高が急速に進行するなど、先行きは不透明な状況にあります。

ゴルフ業界においては、若年層や女性層のプレイ人口の増加といった側面が見られるものの、ゴルフ用品市場においては個人消費の落ち込みが影響し、依然として厳しい市場環境が続いております。

また健康食品市場においては、消費者の健康に対する潜在的ニーズは高く通信販売などの売上が増加しましたが、その一方で店頭売上は低迷し、市場全体としては横ばいの状況にあります。

このような状況のもと当社グループは、新商品の発売と重点的な宣伝・販促活動を実施するとともに、アジアを中心とした海外市場への積極的な営業活動を展開し、売上の増加に努めました。

また、前期より進めてきた組織再編等の合理化策を始めとする総コストの見直しの効果が表れ、製造原価の低減と固定費の圧縮につながって利益率が増加しました。

最終損益につきましては、日本振興銀行の民事再生手続開始申立てに伴う投資有価証券評価損を特別損失に計上しましたが、一方で繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産として5億3千4百万円を計上することといたしました。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

2010年12月
代表取締役社長 大隅 宏昭



当連結会計年度の業績

■ 売上高

(前期比) 22.1%増

7,372百万円

■ 経常利益

590百万円

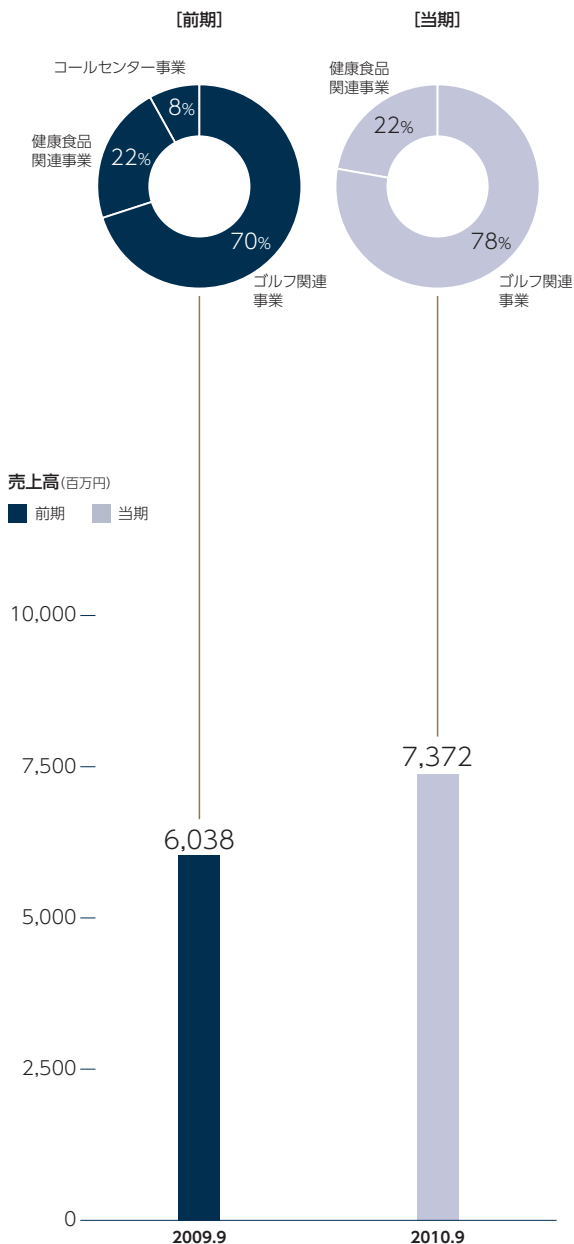
■ 当期純利益

721百万円

■ 1株当たり当期純利益

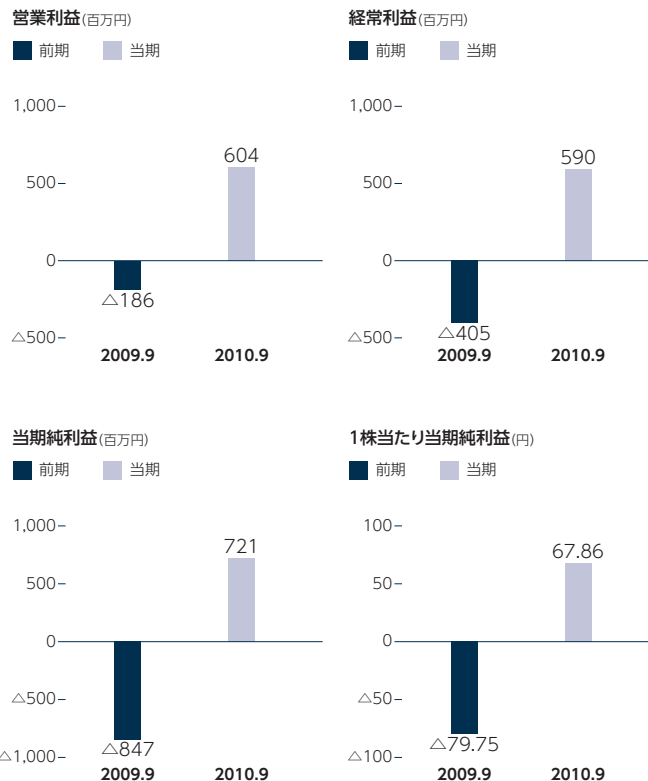
67円86銭

売上高



業績の概況

当連結会計年度の業績は、売上高73億7千2百万円(前年比22.1%増)、営業利益6億4百万円(前年比、営業損失1億8千6百万円)、経常利益5億9千万円(前年比、経常損失4億5百万円)、当期純利益7億2千1百万円(前年比、当期純損失8億4千7百万円)となりました。



財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ19億4千5百万円増加し、77億8千3百万円となりました。これは主に投資有価証券、繰延税金資産(流動・固定)、原材料及び貯蔵品、商品及び製品等の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ12億5千7百万円増加し、51億円となりました。これは主に短期借入金と支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ6億8千8百万円増加し、26億8千2百万円となりました。これは主に当期純利益の計上によるものであります。

資産・負債の状況 (百万円)

流動資産	5,581	流動負債	3,525
固定資産	2,202	固定負債	1,575
資産合計	7,783	負債合計	5,100
		純資産合計	2,682
		負債純資産合計	7,783

キャッシュ・フローの状況 (百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	40 (収入)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,237 (支出)
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,160 (収入)
現金及び現金同等物の期末残高	687

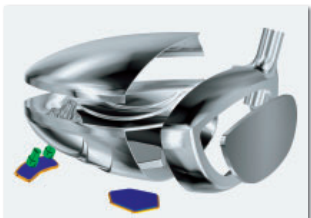
事業別概況

ゴルフ関連事業

当社の人気商品となったフェアウェイウッドモデル「メガシャトル」に、当連結会計年度新たにアイアンとドライバーを発売し、フルラインナップとしました。また主カブランド「マジェスティ」から新たなラインのモデル「マジェスティ ヴァンキッシュVR」を発売し、顧客層の拡大を図りました。

海外市場は、昨年後半より急速な回復を果たし、韓国、中国を中心に好調な販売が続ぎ、輸出が拡大いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高が57億3千1百万円(前期比34.8%増)、営業利益は5億2千4百万円(前期は営業損失3億9千7百万円)となりました。



ヤング・キム

健康食品関連事業

健康食品関連事業においては、健康食品においてダイエット系サプリメントの販売が好調に推移しました。また昨年末にかけて衛生用品の「マスク」の販売が寄与し、売上高が増加しました。

禁煙関連商品では今年10月のタバコ税の増税を前に、「禁煙パイポ」と「禁煙飴」がコンビニエンスストア等を中心に売上を大幅に拡大しました。

しかしその一方で、過剰となった衛生用品の在庫について評価損を計上し在庫の圧縮を図ったことにより損失が発生いたしました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高が16億4千1百万円(前期比22.3%増)、営業利益が7千9百万円(前期比8.2%減)となりました。



次期の見通し

次期につきましては、ゴルフ関連事業では、ボリュームゾーンの「コンダクター」をフルモデルチェンジするとともに、新たに「シャトル」、「マジェスティ」にレフティモデルを加え、ブランドの拡充を図ってまいります。

また、来年がゴルフ事業創設40周年という節目にあたり、主力商品である「マジェスティ」で記念モデルを発売し、積極的な販促活動を展開して、販売強化に取り組んでまいります。

海外市場につきましては、韓国を中心に好調な販売が続いておりますが、今後大きな市場拡大が期待できる中国において、販売網の確立により更に売上の拡大を図ってまいります。

ゴルフ場運営事業においては、コース他諸施設の充実とサービスの向上により集客増加を図り、利益に貢献できる体制を構築してまいります。

健康食品関連事業においては、「ブルーベリー」、「ウコン」及び強壮系サプリメントが堅調で、ダイエット系サプリメントも当連結会計年度に続き好調に推移していくものと見ており、宣伝活動を強化して売上の維持・拡大に取り組んでまいります。

また「禁煙パイポ」は、今年10月のタバコ税増税の影響を受け、年内は大幅な売上拡大を見込んでおります。

これらにより、次期の業績予想は、連結売上高90億6千万円(前期比22.9%増)、また連結経常利益は5億6千3百万円(前期比4.7%減)を見込んでおります。

2011年9月期連結業績予想(2010年10月1日~2011年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期 連結累計期間	4,410	339	215	129	12.14
通期	9,060	880	563	337	31.71

◀マジェスティ プレステジオ ジャパン▶ 日本の伝統文化を語り継ぐ、新しい出会い 世界へ、次の世代へ

日本の伝統工芸「漆(うるし)」を纏った、究極のプレミアムゴルフクラブ「マジェスティ プレステジオ ジャパン」が完成!

マジェスティは、1991年のマルマン創立20周年記念モデル【マジェスティ20th】の発売以来、ゴルフクラブの発展に、幾つもの歴史を刻んできました。常に最高のパフォーマンスとプレステージ性を融合させ、最高峰のゴルフクラブとして、どの世代でもプレミアムゴルフクラブのベンチマークとされてきました。

特に近年では、国内での人気だけではなく、ゴルフブームに沸く韓国、そして成長著しい中国市場での高い人気は、マジェスティが唯一無二の存在であることを証明しています。

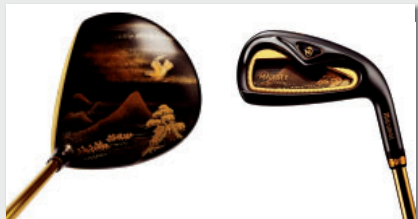
日本の伝統文化を広く、そして次の世代へと伝えたい熱い思いに共鳴し、日本を代表する伝統的な工芸品「輪島塗」の技法を活用した「チタン漆」の装飾をゴルフクラブに施した特別仕様モデル「マジェスティ プレステジオ ジャパン」を開発しました。

この「チタン漆」は、地域資源活用の事業として、経済産業省の認定を受けた事業です。

また、ジャパンの名称は、海外では「漆」のことを、Japanと呼ぶことに由来します。

このすばらしい素材と、先人達から伝承された技術の「伝統」を新しい感性で「現代」に活かした、新時代の匠達の【漆工芸】。一方、ゴルフクラブに最高の素材と最新の技術を取り入れ、高次元の性能を纏い、匠の技で磨きぬかれた美しい姿の【マジェスティ】。

ともに、伝統と最新の融合を極めた2つの『日本文化』のコラボレーションが見事に実現しました。

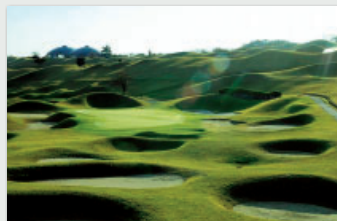


◇希望小売価格

マジェスティ プレステジオ ジャパン 税込 16,800,000円
(ウッド3本、アイアン9本、パター、キャディバッグのフルセットでの販売のみ)

*完全受注生産。受注後、3ヶ月後のお渡し。

▶新・西山荘カントリー倶楽部 卓越した究極のリンクスコース



よく手入れの行き届いた美しくうねったフェアウェイ、対照的に野趣を感じさせるラフ。

そこには効果的に池、湖、バンカーが配置され、18ホール全てに高い戦略性が求められています。



花びらを思わせる太い梁のドーム型天井。中央部の高さは15メートルにも及ぶ巨大ドームが2棟。

ゆとりを感じさせるクラブハウスとレストランには、タフなリンクスコースとは対照的な、ゆるやかな時間が流れます。

▶ゴルフを！休暇を！もっと楽しみたい、 という方には別荘タイプのログハウス

丸太を組み上げた本物のログハウスは、重厚な造りのゆとりとした2LDK。

コースを見渡せるレンガ造りの専用BBQグリルを備えています。



新・西山荘カントリー倶楽部

〒313-0002 茨城県常陸太田市下大門町明ヶ谷津1063

TEL:0294-70-1234 FAX:0294-70-1311

URL: <http://seizansoucc.jp/>

E-mail: info@seizansoucc.jp

会社概要 (2010年9月30日現在)

会社名	マルマン株式会社
所在地	東京都千代田区内神田1丁目15-10 内神田FTビル2F
資本金	1,046,500千円
従業員数	145人
事業内容	ゴルフクラブ・ゴルフ用品及び健康食品・パイポの製造販売

主な事業所

南千住工場 東京都荒川区南千住6-57-11
物流センター 栃木県宇都宮市平出工業団地19-5
久和物流内3F

支店及び営業所

札幌営業所 札幌市中央区南3条東4-1-15
仙台営業所 仙台市若林区舟丁16
東京支店 東京都千代田区内神田1-15-10
横浜支店 横浜市都筑区茅ヶ崎中央47-7
名古屋支店 名古屋市中区東区東端町23
大阪支店 大阪市北区天神橋7-12-6
福岡営業所 福岡市南区清水3-8-29
CSギャラリーLGV船橋 千葉県白井市神々廻1904-2
フィッティングアリーナ 東京・横浜・名古屋・大阪

株式インフォメーション

決算日 / 毎年9月30日

定時株主総会 / 毎年12月

配当金受領株主 / 毎年9月30日

確定日

株主名簿管理人 / 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 / 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 / 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10

および照会先 住友信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-176-417

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、下記へお問い合わせください。

〒168-8507

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0120-288-324



東京都千代田区内神田1丁目15-10
内神田FTビル2F

